1. 表現パターン

1-1　基本要素
1-1-①シンボルマーク

右の図は本学のシンボルマークであり、これには次のような意味が含まれています。

1. 東京医科歯科大学の発展の歴史と、その将来へのあるべき姿を、本学の所在地、湯島にちなんで、湯島天神−学問の神−の象徴である梅の花になぞらえて図案化したものです。
2. 花の芯に当たる中央の輪は、旧東京高等歯科医学校の校章であり、これを基盤として現在の本学があることを示しています。
3. 五枚の花弁は、医学部、歯学部、教養部、生体材料工学研究所、難治疾患研究所の五部局を表し、それらが、がっちりとスクラムを組んで花を咲かせているという本学の姿を表現しています。
4. 五枚の花弁は、将来に向かって無限に躍進するという意図を表すために花弁の外側を肉厚にし、これによって躍動的な感覚を盛り込んでいます。

規則は平成16年4月1日より施行。
（デザインは本学から千葉大学の先生に依頼）

このシンボルマークは、以下の使用を後述の規定に基づき可能とします。

・単独使用
・和文、欧文ロゴタイプとの併用
・ロゴマークに加え、和文ロゴタイプとの併用
・ロゴマークに加え、欧文ロゴタイプとの併用

1. 表現パターン

1-1　基本要素
1-1-②ロゴマーク

本学の欧文表記 TOKYO MEDICAL AND DENTAL UNIVERSITY の頭文字をとった TMDU を図案化し、これを本学のロゴマークとします。これには次のような意味が含まれています。
1.「M」と「D」をつなげることで、医学と歯学の融合を表現しています。
2. 太いラインは“自信”や“強さ”を表し、本学の伝統を表現しています。
このロゴマークは、今後シンボルマークと共存し、以下の使用を後述の規定に基づき可能とします。
・単独使用
・シンボルマークに加え、和文ロゴタイプとの併用
・シンボルマークに加え、欧文ロゴタイプとの併用

1. 表現パターン

1-1　基本要素
1-1-③、③’和文ロゴタイプ

和文ロゴタイプは、シンボルマークやロゴマークと併用することを前提に、イメージをあわせて制作しました。東京医科歯科大学のシンボルマーク、ロゴマークと併用する和文大学名の書体は、常にこのロゴタイプを用います。
このロゴタイプは、以下の使用を後述の規定に基づき可能とします。
・単独使用
・シンボルマークに加え、欧文ロゴタイプとの併用
・シンボルマークに加え、ロゴマークとの併用
・シンボルマークとの併用
なお、「国立大学法人」が大学名の前に付くものと付かないものが用意されており、それぞれ後述の規定に基づき使い分けます。

国立大学法人
東京医科歯科大学　③

東京医科歯科大学　③’

1. 表現パターン

1-1　基本要素
1-1-④、④’欧文ロゴタイプ

欧文ロゴタイプは、シンボルマークやロゴマークと併用することを前提に、イメージをあわせて制作しました。東京医科歯科大学のシンボルマーク、ロゴマークと併用する欧文大学名の書体は、常にこのロゴタイプを用います。
このロゴタイプは、以下の使用を後述の規定に基づき可能とします。
・単独使用
・シンボルマークに加え、和文ロゴタイプとの併用

なお、文字数が多いため、横1行で表すものものと5行に改行したものが用意されています。
さらに特殊使用ケースとして、シンボルマークを取り囲み円を描くものも用意されており、これに関しては「シンボルマークに加え、ロゴマークと併用」されたものであり、「1-2 基本要素の組み合わせ」にて紹介します。

TOKYO MEDICAL AND DENTAL UNIVERSITY

④

TOKYO
MEDICAL
AND
DENTAL
UNIVERSITY

④’